

「教育勅語の公共性を精査する」

講師：大橋 容一郎 先生（上智大学名誉教授・放送大学客員教授）

略歴 1952年2月東京都生まれ。上智大学文学部で長く教え、同大哲学科長、文学部長等を歴任。多数の国公立大学でも講義。

2022年4月より同大名誉教授。放送大学客員教授、上智大学グリーンケア研究所客員所員、日本フヒテ協会会長。

業績 『カント全集』(岩波書店)、『フヒテ全集』(哲書房)、『広辞苑第7版』(岩波書店)、『世界人名大辞典』(岩波書店)、『哲学思想事典』(岩波書店)、『哲学の歴史』(中央公論新社)など多数の全集・辞書を監修。カント哲学・近世現代哲学・ケアと身体哲学・近代日本思想などに関する学術論文多数。

最近の動向 岩波書店『思想』に連載した近代日本哲学思想の書籍化と同時に、カントの著作翻訳の出版を進めている。

時代の変化のスピードが加速している現代社会だが、その変転に振り回されることなく、歴史と思想をふり返り、われわれの公共性が向かうべきこれからの途について、一緒に考えましょう。

前回は、「教育基本法」の改訂の中で、個人と国家の公共性バランスが大きく変化した問題を取り上げました。教育基本法および現在の憲法改正の議論は、天皇制、軍備、安全保障体制などにつけるものではありません。むしろ性差、人種、家族関係などについては、戦前の倫理道徳である「教育勅語」との異同が大きな問題です。第2回は、「教育勅語」の本文、それを世界に示した吉田熊次の講演を見ながら、公共性の問題を考えます。

日時： 10月16日(日) 14:00～16:30

場所： Zoomによるオンライン・ミーティングとして行います。

参加費： 一人 1,000円(入金後のキャンセルは、ご容赦ください。)

申込み方法: 次のpeatixアドレスから申込み、各自が選択された方法で事前に

お支払いください。 <https://begleiten221016.peatix.com/> ⇒

コンビニからのお申込み・お支払いは 10月15日(土)まで、

クレジットカードを使用してお申込み・お支払いは、10月16日(日)12:00までです。

ZoomのURL: お支払い確認後、10月16日(日)12:30～13:00にZoomのURL、ID、パスワードを、個別にご連絡します。

Zoomを利用されたことのない方は、使用方法をお伝えします。お申込み時にお知らせください。

主催： ベグライテン <http://begleiten.org/> <https://www.facebook.com/begleiten2>
<https://twitter.com/Begleiten2001>

問合せ・連絡先: 関根和彦 090-9146-6667 k_sekine@f7.dion.ne.jp

